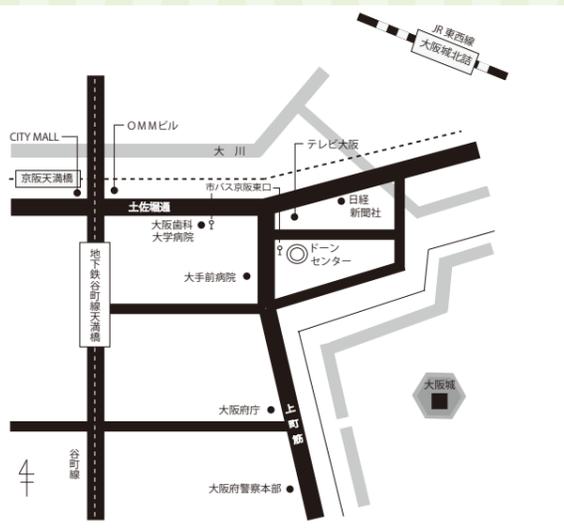


会場案内



ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3-49

- 地下鉄谷町線「天満橋」駅・京阪電車「天満橋」駅
1番出口から東へ約350m
- JR東西線「大阪城北詰」駅
2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m
- 市バス「京阪東口」すぐ

お問い合わせ

NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク JSN茨木

就労定着支援フォーラム事務局 (担当: 奥西麻理子)

Tel: 072-645-6633 Fax: 072-645-6644 Mail: syuurou.teityaku@gmail.com

参加申込書 (この面をそのままご送信ください。)

代金をお振込みの上、下記までFAXでお申し込みください。 ※振込手数料はご本人様負担をお願いいたします。

メールでのお申し込みの際は、下記①～⑩の内容を本文にご記載の上、ご送信ください。

申込先: JSN茨木宛 Fax: 072-645-6644 Mail: syuurou.teityaku@gmail.com

振込先: 三井住友銀行 茨木西支店 普通 0652126 NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 理事長 田川精二

締切: 平成30年6月8日(金) (定員になり次第締め切ります)

申込日: 平成30年 月 日

| | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------|------------------------|
| ①申込内容: ※該当日に○を お付けください。 | フォーラムのみ (6/22) 3,000円 | 養成講座のみ (6/23) 5,000円 | 両日 (6/22・23) 8,000円 |
| ②ご所属: | フリガナ | | |
| ③参加者氏名: | | | |
| ④ご住所: 〒 | | | |
| ⑤Tel: | ⑥Fax: | | |
| ⑦Mail: | ※メールにて参加証をご送付いたしますので、必ずご記入ください。 | | |
| ⑧振込人名義: | ⑨振込日: | | H30年 月 日 |
| ⑩領収書宛名: (必要な方) | | | |

- ・お預かりした個人情報はフォーラム管理のみに使用し、その他目的では一切使用いたしません。
- ・キャンセルの場合、返金はいたしかねます。ご了承ください。
- ・お申し込み日から10日以内に参加証を送付いたします。万が一こちらからの連絡がない場合は、お手数をおかけいたしますが、担当者までご連絡ください。

このフォーラムは、
日本財団の助成により開催されます。

後援:



就労支援フォーラムNIPPON 特別企画

第2回

精神・発達障害者

就労定着

支援

フォーラム

in おおさか

2018



FRI



SAT

会場:

ドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・
青少年センター)

主催:



NPO法人
大阪精神障害者就労支援ネットワーク

DAY 1

6/22

FRI

第2回

精神・発達障害者

就労定着支援フォーラム

in おおさか

時間：13:00～17:30 場所：ドーンセンター 7F ホール
 (受付開始：12:00から) (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

定員：300名(要予約) 参加費：3,000円 対象：精神・発達障害者の就労支援に関わる方

この4月からの精神障害者の雇用義務化、法定雇用率の引き上げに伴い、三障害(身体障害、知的障害、精神・発達障害)における新規就労件数で精神・発達障害者が最も多くなっており、精神・発達障害者の雇用は拡大されています。それに対し、喜びの声もある反面、就労定着に対する厳しい声も伺います。

今年度より、施行された定着支援事業については、各方面から高い関心を集めておりますが、施行後間もないこともあり、そのあり方や、その効果は明らかではありません。

そこで、本フォーラムでは、精神・発達障害者の定着支援について当事者、福祉、医療、企業、行政それぞれの立場からの報告や議論を通じて参加者の皆さまと課題や、将来展望を共有させていただきます。

当日のスケジュール (内容・担当者等、詳細は変更となる場合があります。)

| 時間 | プログラム |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受付開始 (12:00 -) | |
| 13:00 - 13:10 | 開会のあいさつ NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク (JSN) JSN 新大阪アネックス 所長 茂木 省太 |
| 13:10 - 13:50 | 行政報告 「定着支援事業について(仮)」 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課より |
| 休憩 (13:50 - 14:05) | |
| 14:05 - 15:25 | 問題提起 「定着支援の現場から～言いつばなし～」 社会福祉法人 加島友愛会 障害者センター 館長 酒井 大介 有限会社 奥進システム 代表取締役 奥脇 学 医療法人 三家クリニック 医療福祉相談室 室長 浜中 利保 |
| 休憩 (15:25 - 15:40) | |
| 15:40 - 15:50 | 共同主催者あいさつ 日本財団 公益事業部 国内事業開発チーム チームリーダー 竹村 利道 |
| 15:50 - 17:25 | シンポジウム 「働き続けるを支える」～JSN10年の仕事を振り返って～ パネリスト: 株式会社トーコー 総務部 エキスパート 小澤 公嗣 医療機関関係者 当事者(JSNを利用して就職された方) JSN地域・企業連携事業部 主任 橋本 泰伸 JSN地域・企業連携事業部 村上 麻美 コーディネーター: NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 統括施設長 金塚 たかし |
| 17:25 - 17:30 | 閉会のあいさつ NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 事務局長 保坂 幸司 |

DAY 2

6/23

SAT

精神障害者、発達障害者から学ぶ
SPIS相談員養成基礎講座

時間：10:00～17:00 場所：ドーンセンター 5F 特別会議室
 (受付開始：9:30から) (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

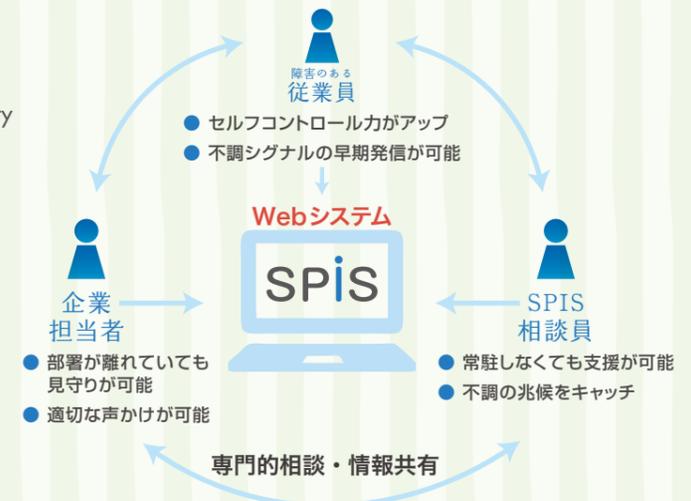
定員：50名(要予約) ※うち、希望者30名は後日開催される第2回～第6回の基礎講座への参加が出来ます。
 参加費：5,000円 対象：精神・発達障害者の就労支援に関わる方

SPIS エスビス Supporting People to Improve Stability

精神・発達障害者に効果的な就労定着支援システム

「SPIS (Supporting People to Improve Stability)」は、Webシステムを利用して精神・発達障害のある従業員と雇用企業の担当者、外部相談員の三者を結ぶ連携プラットフォームです。このプラットフォーム内で、当事者従業員は自身の心身コンディションを示す指標を自ら設定し発信します。雇用企業の担当者と SPIS 相談員はその情報をリアルタイムで共有し、当事者の自己コントロール力と職場の当事者サポート力を向上させるべく、システム内のコミュニケーションを通じて相互に働きかけます。

※SPISは、有限会社奥進システムの登録商標です。



当日のプログラム (第1回「SPIS概論」) (内容等、詳細は変更となる場合があります。)

| 時間 | 内容 |
|----------------------|-------------------------------------------------------------|
| 受付開始 (9:30 -) | |
| 10:00 - 10:10 | 事務局連絡 |
| 10:10 - 10:55 | <セッション1> SPIS のしくみ |
| 11:05 - 11:20 | ◎「開発元 奥進システムはこんな会社です」DVD |
| 11:20 - 12:15 | <セッション2> SPIS の運用 |
| 昼食休憩 (12:15 - 13:15) | |
| 13:15 - 14:25 | <セッション3> 「当事者をどう理解するのか」 ・演習問題 ・グループワーク・発表 |
| 休憩 (14:25 - 14:40) | |
| 14:40 - 16:30 | <セッション4> 「当事者とどう関係をつくるのか」 ・DVD演習 ・演習問題 ・グループワーク・発表 |

第2回～第6回のプログラム (開催日時と場所は5/10現在調整中)

- 第2回 「ケーススタディ1」: 発達障害の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。
- 第3回 「SPIS研究1」: 当事者の生きにくさを「WRAP」を活用して演習形式で学習します。職場担当者の役割では「人事担当の困りごと」をまとめ、外部支援者の役割ではコメントを客観的に見ていきます。
- 第4回 「ケーススタディ2」: 躁うつ病の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。
- 第5回 「SPIS研究2」: 「こんなケースの場合、あなたならどうコメントするか？」をテーマに、入力量の多い人、休日も入力する人、人事異動の不安等への対応方法を考えます。また、書き言葉の留意点を学習します。
- 第6回 「ケーススタディ3」: 統合失調症の事例を基に、外部支援者としてコメント入力の内容を学習します。